

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針1 健康福祉	健康・医療	・医療機関が少なく、特に産婦人科、小児科、皮膚科が少ない。市内で不妊治療ができない。 ・釜戸町や陶地区にも病院がほしい。 ・東濃厚生病院をなくさないでほしい。 ・病院の維持、在宅療養支援診療所の整備など、医療の充実を図ってほしい。 ・30、40代からの健康対策。食事や運動に関する補助をつける。	・身近な地域で必要な医療が受けられることが望ましいですが、多くの課題により困難な状況となっています。そのような中、新たな新病院には、不足している専門医師や診療科の確保を期待しています。また、東濃厚生病院には、今後もより良い形で地域医療が拡充できるような役割を担っていただけるよう要望しているところです。 ・若い世代からの健康管理は重要で、個々の生活様式に合わせた取り組みが基本となると考えています。補助の予定はありませんが、生活習慣の改善意識、健康管理の行動に繋がるよう20歳代の方にも健診を受けらるよう事業の充実を図っていくことを予定しています。健診結果等により生活習慣改善支援等の個別相談も実施していますので積極的に受診をしてください。	健康づくり課
	子育て支援	・子育て世帯が利用できる施設を増やしてほしい。子どもを連れて行ける場所がない。 ・保育園、幼稚園の受け入れ状況が厳しいので、子育てしにくい環境になっている。 ・有料の子どもの託児所をつくってほしい。 ・新生児にも給付金をお願いしたい。 ・学童保育にも力を入れてほしい。	・現在ある児童公園、子育て支援センター、児童館などをより使いやすい場所になるよう努めています。 ・施設面積や保育士数により受け入れられる定員が決まっています。一部の園において定員を超える申し込みがありますが、学区内の他の園をご案内するなどできる限り保護者の皆様の希望に沿うよう努めています。 ・当市では、一時預かり事業（私立2園）、ファミリー・サポート・センター事業、病児・病後児保育事業などご家庭の事情によりお子様をお預かりする子育てサービスを実施しています。用途に応じてご利用ください。 ・本年度、本市独自の制度として「子ども未来応援金」を実施し、令和2年4月28日から令和3年4月1日に本市で生まれた児童を対象に、児童1人につき10万円を給付しています。 ・各地域で学童保育を実施している団体の実情に沿った運営費を交付し、学童保育の充実を図っています。各学童保育からの意見や実情を踏まえ学童保育の充実に努めています。	子育て支援課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	障がい者福祉	・ 障がい者福祉の充実（障がい者施設、グループホーム、ケア付きの住まいなど）を考えてほしい。 ・ 点字ブロックの上に物が置かれていたり、歩道に車が止められていたり、障がい者の方が街中を気軽に歩けない。ひとりでも安心して歩ける環境になるといい。	・ 近年の障がい者福祉施策は、障がいのある方が住み慣れた地域の中で安心して生活できることを目指し、相談支援体制やグループホーム、日中活動サービスの充実を図るとともに、介護者の入院・死亡等の緊急時に対応できる支援体制や、判断能力が不十分な方の日常生活を法律的に支援する成年後見制度の利用促進に向けた体制の整備に取り組んでいます。 ・ 障がいのある方が地域で安心して生活するためには、住民一人ひとりの理解や思いやりも欠かせません。私たちが暮らす地域にはさまざまな人がいること、自分の行動が誰かにとっての障壁になりうることに気づき、相手の身になって行動できる人が増えるきっかけとなるよう、継続的な啓発にも取り組んでいます。障がいの有無に関わらず、誰もが安心して住み続けることができる環境となるよう、引き続き取り組みを進めてまいります。	社会福祉課
	高齢者福祉・介護	・ 誰もが入所しやすい高齢者向けの住宅をつくってほしい。	・ 市営住宅の建設や運営方針は、瑞浪市市営住宅長寿命化計画に基づき行っており、現在のところ、高齢者に限定した市営住宅の建設の予定はありません。	都市計画課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・高齢者が1人でも安心、安全に暮らせる瑞浪市であってほしい。 ・高齢者向けの運動や娯楽が楽しめる施設、交流ができる場所をつくってほしい。 ・介護支援（タクシー券など）の継続をお願いしたい。	・一人暮らし高齢者の方への支援として、見守りを兼ねた配食サービスや緊急通報装置の貸し出し、民生委員や福祉委員による見守り等の高齢者福祉サービスがあります。また、支援や介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの推進にも取り組んでおり、高齢になっても、一人暮らしであっても安心して暮らせる地域づくりを進めています。 ・高齢者向け福祉施設については、介護保険事業計画において今後の高齢者人口、要介護認定者数の推移や高齢者福祉施設の整備状況を把握し、介護保険施設整備の必要性について検討をしています。 ・市内には3ヶ所の老人憩いの家がありますので、ご活用いただきたいと思います。また、介護予防を目的とした教室も各種開催しておりますので、是非ご参加いただきたいと思います。 ・在宅で介護されるご家族への支援として、介護手当の支給やリフト付きタクシーの利用助成、介護用品購入クーポン券の支給、徘徊高齢者の位置検索受信機（GPS機器）の貸し出しがあり、今後も継続していく予定です。	高齢福祉課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針 2 生活環境	循環型社会	・ゴミ袋が高い。 ・障がい者、1人世帯の高齢者住宅の戸別ゴミ収集をするのはどうか。 ・プラゴミを燃えるゴミではなく分別するなど、CO2削減の取り組みを考えてほしい。 ・児童館のリサイクルデー、図書館のリサイクル本のような、持ち寄りリサイクルの場を広くつくってほしい。	・ゴミ袋の値段は、近隣市比較では、一部の市を除いて高額とはなっていません。各市のごみ処理経費は、炉の方式や規模によって変わってきます。瑞浪市では、年間の処分経費の約2割相当を市民の皆さまにご負担いただくという考え方で設定しております。ごみ処理経費をごみ袋に含める理由としましては、ごみ処理に関する意識の向上や処理経費の負担の公平性を確保するために市民の皆さまにご負担いただくという考え方で設定していますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 ・令和2年4月現在、市内の一人暮らし高齢者世帯は2,400世帯を超えています。全世帯に対する戸別収集には膨大な経費が必要となりますので、現状では困難と考えます。 ・CO2削減は、地球温暖化対策のために必須条件です。現在、ペットボトル及び白色食品トレイについては資源ごみとしてリサイクルできていますが、その他のプラスチックごみはリサイクルの仕組みがありませんので、焼却処分としています。今後は、資源化できる「雑紙」の分別や、家具のリユースなどを進めてまいります。 ・持ち寄りリサイクルの場については、研究課題の一つとして捉えます。	環境課 クリーンセンター

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	環境保全・エネルギー	・瑞浪中学校と火葬場の向かいのため池が臭うのでどうかしてほしい。	・ ご指摘のため池は、入ヶ洞ため池と言いますが、農業用に使用されており、現在受益者の方々により管理されております。使用している限り、水を溜め、下流の田んぼへ流れますので、どうしても臭いは出てしまうと考えられます。	農林課
		・ 飼い犬猫の糞に困っているので対策をしてほしい。	・ 犬・猫などのペットに関する糞尿被害は、1年を通して相談をいただいています。これは、飼い主によるマナーの問題と捉えています。現在は、広報紙やホームページでの啓発の他、啓発看板の配布を行っていますので、よろしくお願いいたします。	環境課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	公共交通	・名古屋からの夜遅くの普通電車も瑞浪着までにしてほしい。 ・公共交通機関（主にバス）が少ないので、ルートやバス停の増加、ダイヤ、運賃などの見直しを行い、もっと利用しやすいようにしてほしい。 ・運転免許返納後の支援（買い物や病院への移動手段のサポートなど）を考えてほしい。 ・地域格差のない、子育てのしやすい環境の整備をお願いしたい。	・瑞浪市では、他の自治体等と連携し、毎年ＪＲ東海に対して、利用者等のニーズに基づいた要望書を提出しており、その中で名古屋駅から多治見駅以东への運行本数の増加について要望しております。収益性及び効率性の面から現時点では実現に至っておりませんが、今後も通勤・通学利便性の向上を図るため、継続して要望を行ってまいります。 ・瑞浪市内の公共交通機関につきましては、まずコミュニティバスが市内９路線を５台の車両で運行しております。また、交通不便地域である日吉地区、明世地区、釜戸地区、大湫地区においては、デマンド交通「いこＣａｒ」という乗り合いタクシーが各地域と市中心部を１日３往復運行しております。おひとり１乗車５００円と大変お得な運賃設定となっており、車を運転できない方の日常生活の足として活躍しております。瑞浪市内には他にＪＲや東濃鉄道バスが運行しており、コミュニティバスはそれぞれの接続に配慮しながらダイヤの編成を行い、限られた人員と車両数で最大限の便数を確保しながら、効率的な運行を行っております。運行経路や時刻の見直し、停留所の新設にあたっては、毎年利用者アンケートや地区要望を募り、実現可能な件に関しては出来る限り細やかに対応し、利便性向上に努めておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 ・運転免許証の返納につきましては、自家用車から公共交通機関への利用転換を促進するため、自主返納された方に５,０００円相当のバス回数券やタクシー利用券を進呈する支援事業を行っておりますが、支援を受けられた方にアンケート調査を実施する等、事業への意見集約及び返納後の移動実態の把握に努めております。状況を分析し、より効果的な支援事業への見直しを図るとともに、車を運転できなくなっても安心して外出できる環境の整備に取り組んでまいります。	商工課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	消防・防災	・洪水、土砂のハザードマップ全市の町内会単位での説明会の開催を希望。	・洪水及び土砂災害ハザードマップは、自宅周辺や通勤・通学路上の危険箇所や避難経路を確認する重要なツールです。現在、市では更新業務を行っており、説明会の開催も予定しています。日程等細部については、区長会等を通じて連絡いたします。	土木課
		・防災無線、防災ラジオ、絆メールで新型コロナの的確な情報発信をしてほしい。 ・人口集中区域を考慮した災害倉庫の検討をしてほしい。	・市は、市内在住者の感染者の発生情報について、県より発表された情報を市ホームページに掲載しています。なお、県発表情報以外の情報は、持ち合わせていません。不要不急の外出の自粛、同居家族以外の大人数（５人以上）での会食の自粛など感染防止対策を徹底して頂くための情報発信をしています。今後とも、啓発チラシ、防災行政無線など各種手段を活用して、市民の皆様に感染防止を呼びかけてまいります。 ・市内２８箇所にある防災倉庫は、人口分布等を勘案し、配置していますが、土岐地区の土岐川右岸側に無いことが課題でした。今年度、瑞浪北中学校敷地内に防災倉庫を新築し、市の災害対応力を強化します。	生活安全課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	防犯・交通安全	・旧国道19号を抜け道として使う車がスピードも速くて危険なので、安全な生活道路にしてほしい。 ・駐停車違反の取締りを強化してほしい。 ・国道19号の太陽社の交差点で事故が多いので対策をしてほしい。	・旧国道19号（県道352号大西瑞浪線）については、道路管理者である岐阜県が啓発看板（「大型はバイパスへ」「速度落とせ」等）や減速線を引くなどの様々な交通安全対策を実施しているところですが、今後も安全に走行できるよう、警察にパトロールを強化するよう要望します。 ・駅前のロータリーについては、市が定期的に見回りを実施しており、長時間停車している車や通行の支障となる車については、張り紙により警告を行っています。 ・国道19号の山野内の交差点については、道路構造上、矢印式信号機の設置は困難と考えられます。なお、看板の設置により右左折する際には適切に方向指示器を出すよう啓発しているところですが、今後も安全に走行できるよう警察にパトロールの強化を要望します。	生活安全課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	市民生活	・新たに事業を立ち上げたくても、話ができる人や相談できる場所がなく、起業しにくい。 ・雇用促進。働ける場所の確保を。	・瑞浪市では、市内における創業を支援するため、商工会議所や市内の金融機関等と連携して実施する創業支援内容をまとめた「創業支援事業計画」を策定し、国から認定を受けております。主な支援内容として、「創業支援セミナー」の開催や、創業に係る設備資金について最大500万円の補助金交付事業を行っております。交付条件や別途審査がありますが、瑞浪市は創業がしやすい環境が整っておりますので、お気軽に市役所商工課や瑞浪商工会議所までご相談ください。 ・雇用を創出し、人材（若者）の流出防止を図るため、瑞浪市としても積極的に企業誘致に取り組んでおり、ここ数年で、(株)エイ・ダブリュ瑞浪、ダイキャスト東和産業(株)、司企業(株)、(株)トキワが立地し、多くの雇用を創出することができました。特にエイ・ダブリュ瑞浪では、1,000人以上の方が働いており、市内の若者も多く雇用されております。 また、3年前から高校生を対象とした「合同企業説明会」を行っており、企業と地元の高校生をマッチングして、地元での就職促進、人材の流出防止に繋げる取り組みを行っております。なお、今年度はコロナ禍のため、従来とは方式を変えてWeb開催とし、各企業の紹介ページ動画等を制作し、高校生、大学生、一般求職者に向けて情報発信を4月以降に行う予定です。	商工課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・ すぐ相談できる窓口の周知する。	・ 市民相談窓口については、年に1回（毎年5月頃）「広報みずなみ」に市内・県内の主な相談窓口を掲載している他、毎月15日号の「困りごと相談」コーナーに、市内で受けられる相談窓口を掲載しております。また、市ホームページにおきましても、各種相談窓口を掲載しており、トップページの「相談窓口のご案内」よりご覧いただけます。今後も引き続き周知に努めて参ります。	生活安全課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針3 都市基盤	道路・河川	・道路や通学路などの除草や街路樹を剪定してほしい。 ・自転車で走行しにくい道路。 ・駅周辺の歩道の舗装など、道路整備をしっかりとってほしい。 ・瑞浪小学校付近の通学路歩道にパイプガードレールの取り付け、山田町のパチンコ店前の街道に歩道の設置をお願いしたい。 ・陶町内の旧363号は舗装が悪いので直してほしい。 ・団地の道が老化して穴があいているので直してほしい（陶町）。家の前の道路に大きな穴が開いているので修理してほしい。 ・自然災害に備えて、川の工事、古い橋の修繕など危険箇所の対応をしてほしい。また、豪雨対策として、側溝、排水路の清掃も必要だと思う。	【道路管理】 ・市道の管理（除草・街路樹剪定など）については、交通安全上支障とならないよう定期的に実施しています。また、除草については、主要な道路や交差点付近などについては市により直接行っていますが、その他の区間については、地域の方々のご協力をいただいています。引き続きご協力をお願いします。また、交通安全上支障となる箇所や危険な箇所等を発見された場合は、土木課へご連絡ください。 【道路整備】 ・道路新設や道路拡張などの道路の整備については、国道や県道などの各管理者とも調整しながら順次対応していますので、ご理解をお願いいたします。 【自然災害に備えた工事】 ・市内には多くの河川、多くの土砂災害危険区域があります。県などとも連携しながら、土岐橋架け替え、日吉川河川改修、猿爪川河川改修、土砂災害対策に取り組んでいます。また、河川改修や土砂災害対策には、多くの費用と期間が必要となります。自助・公助により被害を軽減するため、ハザードマップの配布などに取り組むこととしています。 ・橋梁は5年に1度の定期点検を行っており、修繕箇所の把握を行っています。これに基づき必要な修繕や管理を行っています。	土木課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・ 瑞浪-恵那の新19号の早期完成。	一般国道19号瑞浪恵那道路は、国土交通省により工事が進められています。瑞浪市は、2027年予定のリニア中央新幹線開業までに、全線が開通されるよう、引き続き、国や県、及び地元関係者とも積極的に連携しながら、事業の進捗に協力してまいります。	都市計画課
		・ 明世町山野内地区の50キロ規制を危険なので、40キロ規制にしてほしい ・ 街灯（防犯灯）を増やしてほしい。	・ 速度規制については警察が管轄していますので、当該ご意見について多治見警察署に情報提供します。 ・ 身近な生活道路において、電柱や金属製支柱に防犯灯を設置することが考えられますが、防犯灯は地元自治会が管理しています。電柱等に防犯灯の設置を希望される場合には、該当の地域の区長、組長にご相談ください。	生活安全課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	まちなみ	・緑豊かなまちを目指してほしい。 ・キャンプやサイクリング、ウォーキング、BBQ、スポーツなど市民が楽しく遊べる自然豊かな公園をつくってほしい。 ・市民公園の憩いの広場に大型アスレチックや遊具をつくってはどうか。 ・空き地を活用して屋内施設や公園をつくってほしい。 ・稲津町には公園（広場）がないので、休耕田となっている広い土地を公園として整備するのはどうか。 ・公園のメンテナンスをしっかりとってほしい。	・瑞浪市民公園について、大型アスレチックの設置予定はありませんが、自然を感じることができる散策路や体育館等のスポーツ施設を整備しておりますので、そちらをご利用ください。 ・都市公園については市内31箇所あり、総合公園の瑞浪市民公園を除き、区画整理事業の市街地整備の中で設置しています。現時点では、新たに都市公園を整備する計画はございません。 ・都市公園施設の維持管理は毎年計画的に行っております。除草等は地域の方々等にご協力いただきながら進めております。	都市計画課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	住環境	・ 駅前再開発の促進、駅前の活性化を図ってほしい。 ・ 瑞浪駅裏に改札を設置する、釜戸駅にエレベーターを設置するなど、利用しやすい駅をつくってほしい。 ・ 駅前に若い人にも魅力のある店（おしゃれなカフェ等）があるといい。 ・ 駅前に福祉介護、保育施設や公園があるとよいと思う。 ・ 駅前ロータリーのバスや送迎車がスムーズに発着できるよう対策をしてほしい。 ・ 駅周辺（含む地下道）の禁煙を徹底してほしい。 ・ 駅周辺の開発だけでなく、日吉、釜戸、大湫、陶と中心から離れた地域の開発も考えてほしい。 ・ 駅前再開発を多額の費用をかけて行う必要性は感じられない。もし何かをつくるのなら、十分なプランニングをした上で市民が納得する施設をつくってほしい。 ・ コンパクトシティの発想も必要ではないか。 ・ ベッドタウンのような居住地として住みやすいまちづくりを検討してほしい。（分譲マンション、市営マンションの建設など） ・ 住宅地の開拓や売込みによる税収の確保を図ってほしい。 ・ 駅前の駐車場が少なく利用しづらい。もっと駅に近い場所に建設したり、無料の時間を増やしてほしい。	・ 瑞浪駅南地区において、地権者らの組合で施行する市街地再開発事業の実現に向けて、令和2年度には、「瑞浪駅周辺まちづくり基本計画」を策定しました。その中で、魅力あるお店など駅周辺に賑わいを創出するための機能や、送迎時間帯の混雑緩和の対策、駅前の芝生広場や市営住宅などの機能も検討しています。 ・ 基本計画においては、瑞浪駅北エリアに、公共公益施設の集約・再編をすることで、市民の利便性の向上及び施設運営の効率化を目指しています。その中には保育・福祉機能の導入も検討しています。 ・ 今後、再開発事業等を進めて行くにあたっては、社会実験やアンケートなどを通じて市民ニーズを確認しながら、より良いまちになるよう検討を重ねます。 ・ コンパクトシティ化に向け、瑞浪市立地適正化計画を策定する予定です。 ・ 瑞浪駅周辺の禁煙対策として、路面標示のほか、委託業者による注意喚起等を行っております。 ・ 駅前広場は送迎車両待機場のため、30分以上の駐車を禁止しており、定期的な監視及び注意を行っております。駅周辺に御用の際は市営駐車場（駅北・浪花）が入庫後30分無料となっておりますので、そちらをご利用ください。	都市計画課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・若者が転入や定住をしやすいまちづくり。 ・空き家対策をする。テレワーク用の事務所に活用してはどうか。	・若者に限らず市外から転入された方で、住宅を取得された場合、市内で使用できる商品券（総額で30万円分）を奨励金として交付しています。 ・空き家、空き地の有効活用のため、市では、空き家・空き地バンクを設置しています。制度が開始された平成26年10月から令和2年11月末日までに空き家では37件が成約に至りました。 また、空き家バンク物件は、地域の活性化につながれば、事務所としても利用可能です。	市民協働課
		・陶小の跡地の有効活用をしてほしい。	・旧陶小学校跡地の利活用については、瑞浪市民の雇用が創出でき、地域の発展に寄与することができる事業であることを条件に、昨年12月より活用事業者の公募を開始しました（令和3年10月末まで）。今後、活用事業者選定の審査を経て、令和4年度には民間事業者へ売却し、利活用を進めていく予定です。	商工課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・多治見虫に困っているので、対策方法があればホームページに掲載してほしい。	・ご指摘の虫は、クロバネキノコバエと思われます。気温30℃、湿度70％程度で発生しやすいと言われており、夜明けから午前10時ごろまでによく見られます。発生メカニズムなど不明な点が多く、駆除することが難しい虫であるため、屋内への侵入防止に努めてください。主な情報は市HPに掲載しています。	環境課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	上下水道	・水道料金が高いので見直してほしい。 ・陶地区の下水道整備を進めてほしい。 ・東濃用水は、現在新設の管布設が完了後、東濃5市に払下げをする。	・ 瑞浪市の水道につきましては、自己の水源が無く、岐阜県東部広域水道から水を購入し、皆様にお配りしているため、自己の水源を持っている自治体と比べコストが嵩みます。また、瑞浪市は区域が広域であります但給水人口が少ないため、整備に掛かる費用に対して料金収入額が低く、地形が山間部に跨っており、送水ポンプ等維持管理費が高くなります。本来は独立採算ですので当該料金で経営を行うべきであります、料金だけの経営が困難であるため、一般会計から一部補助等を受けて経営が成り立っている状態です。これまで、組織のスリム化、隔月検針による委託料の減額等経営の合理化によって経費の削減を図っておりますが、今後、人口減少及び更新需要の増加により経営環境は一層厳しくなると予測されるため、現行の料金水準を維持する必要があります。 ・ 陶地区の下水道整備には、新たな処理場建設や管路布設に莫大な費用が必要となるため、合併処理浄化槽による水洗化を推進していく地区となっております。陶地区の皆様におかれましては、合併処理浄化槽の設置による補助金を活用していただき、水洗化を進めるようお願いします。 ・ 東濃地域及び可茂地域の7市4町は、県から水道用水の供給を受けています。今後、人口減少により経営環境が一層厳しくなると予測されることから、本市としては、県営水道と受水市町の経営統合を含めた広域連携を進める必要があると考えています。	上下水道課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針4 産業経済	農林業	・荒山対策をしてほしい。 ・高齢化の実情を考慮した地域農業の推進。農業に使用する機械を市で安くレンタルできるようにするなど、負担軽減を図る。 ・きなあつ瑞浪周辺または化石公園に、多世代が農業体験ができる市民開放農園をつくってほしい。	・荒山対策としては、本年度より国版の森林環境税を用いて、適切に経営管理されていない森林に対して、森林をどう管理経営しているのか森林所有者に対して、順次意向確認調査を行っております。調査結果において、ご自身で管理できない場合は、市が代わりに管理することができる制度となっております。これらの制度を順次行うことにより、適切に管理された森林が増加するものと考えております。 ・持続的な農地保全活動を行っていただくため、集落等が農用地を維持・管理していく活動等に対して交付金を交付するなど、地域が主体となった活動が促進されるよう努めております。なお、農機具の個別のレンタルは行っていないですが、地域で共同利用等を行う場合に当たっては、交付金の加算措置を行うなどの支援を行っております。個別での管理が困難な場合は、集落等にご相談いただき、地域による農地管理について検討いただきますようお願いします。 ・化石公園（瑞浪市民公園）周辺には農業体験が実施できるような農地がありませんので、市民開放農園等は設置していません。きなあつ瑞浪周辺に設置してある『きなあつ農園』や『JA体験農場』では、多くの皆さんに農業を体験していただくため、植付けや収穫体験、野菜づくり塾など各種農業イベントを実施しておりますので、ぜひご参加ください。また、農業委員会では、気軽に野菜づくりを楽しんでいただくため、市内各地にレクリエーション農園を開園しております。農園の利用を希望される方は、農業委員会へご連絡ください。	農林課

基本方針	施策 商業	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・ 魅力ある商業施設や娯楽施設ができるとよい。 （大型スーパー、ショッピングモール、プール、映画館、飲食店など） ・ 商業施設は釜戸町や、益見町・薬師町あたりに拡大してもいいと思う。 ・ 「化石」や「瑞浪ポーノパーク」に関する事業への投資を図ってほしい。	・ 地方都市である瑞浪市では、大型商業施設がある都市と比べると娯楽という面においての施設が少ないのが現状です。商業施設の運営は民間企業が行いますが、企業は利益を出さなければならないので、収益の出る場所に立地します。近隣の大型商業施設として土岐市のアウトレットモールがありますが、このアウトレットモールの商圈は、市域を超えた広域を想定していること、また、数年後に土岐市にイオンモールの出店計画があることを鑑みると、企業は収益性の面から、瑞浪市にさらに新しい大型の商業施設を立地するのは難しいと思われます。イオンモール等の規模ではございませんが、瑞浪市も大型のスーパーや家電量販店等の商業施設が複数立地しており、生活に必要な物がすぐに手に入る住みやすい環境が整っておりますので、買い物等について、引き続き市内をご利用いただければと思います。 ・ 瑞浪ポーノパークについては、ポーノパーク祭りやグルメスタンプラリーを主催している瑞浪ポーノパークPR委員会に対し、交付金を交付しており、毎年その交付金の中でイベントの開催や情報発信事業を実施しております。今後も限られた財源の中で事業を実施していきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	商工課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	工業	・企業誘致に取り組み、安定した税収の確保を図ってほしい。	・瑞浪市では、雇用を創出し、人材（若者）の流出防止を図るため、積極的に企業誘致に取り組んでおり、ここ数年で、(株)エイ・ダブリュ瑞浪、ダイキャスト東和産業(株)、司企業(株)、(株)トキワを誘致し、誘致企業の立地により、多くの雇用の創出と設備投資による税収増（固定資産税等）を図ることができました。今後も学校跡地や民間所有地を活用した企業誘致を行い、雇用の創出と安定した税収の確保を図っていきたいと考えております。	商工課
	観光	・観光資源の活用や観光名所をつくる。	・観光地の魅力向上のためのブラッシュアップ事業や観光地を周遊する取り組みを市と観光協会で行い、計画を立てています。いただいたご意見を参考にさせていただきます。	商工課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針 5 教育文化	就学前教育・ 学校教育	・ 知育玩具で遊べる施設や幼稚園など、乳幼児教育にも力を入れてほしい。	・ 幼稚園では、子どもの発達状態に応じて適切なものを選び、その時々の子どもの興味や関心を踏まえるなど、遊びを通して感覚の発達が促されるよう玩具（知育玩具を含む。）や絵本を選定しておりますが、今後も教育の充実に努めていきます。	子育て支援課
		・ 小、中学校区を見直してほしい。小、中学校が遠いことが不安。 ・ 子どもが住民自己負担のスクールバスで通っているが、なぜ市からスクールバスが出ないのか。 ・ 瑞浪の歴史や文化を学び、誇りをもって、住み続けたいと思う学校教育の展開をしてほしい。 ・ 保育園、小学校、学童、中学校の学生生活が安全に過ごせるまちづくり。	・ 校区の見直しについては、地元自治会からの要望等により検討する事項と考えています。 ・ 通学費の助成については、通学距離で小学生は4 k m・中学生は6kmを超える場合を通学費助成金交付対象としております。（自主的に運行されているバスについては助成対象となりません。） ・ 地域との関わり合いを大切と考え、ふるさと教育を推進しています。今後も、子どもたちの郷土への思いを高める教育を行ってまいります。 ・ 今後も、学校安全教育・防災教育・健康教育等をとおして、子どもたちが安全・安心に生活できるよう努めてまいります。	学校教育課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	社会教育	・図書館をもっと大きく、カフェのようにくつろげる場になったらいいと思う。 ・駅近くに文化センターと図書館を移転し、児童生徒が自由に学習できる図書館兼学習支援センターをつくってほしい。	・現在、本市では瑞浪市公共施設等総合管理計画に基づき、公共公益施設の集約・再編を進めております。同時に、瑞浪駅周辺まちづくり基本計画を策定し、駅北エリアに集客の核となる公共公益施設として、図書館・総合文化センターの集約および再編を行うとともに、化石博物館などの展示機能の一部を付帯する施設を計画しております。 ・図書館も含め公共施設全体の機能などについては、計画の中で検討を進めてまいりますのでご理解くださるようお願いいたします。	社会教育課
	生涯スポーツ	・瑞浪市はゴルフでも有名な場所なので、市内在住の人はゴルフ場の利用が安くなるなどの特典があれば、もっとゴルフに興味をもつ人も増えると思う。 ・健康づくりを目的とした各地区の遊歩道の整備。	・瑞浪市ではゴルフの町みずなみ実行委員会を組織し、ゴルフを通したPRを行っております。いただいたご意見を参考に、実行委員会の中でも話し合っています。 ・スポーツ文化課では、ゴルフに興味をもっていただくため、平成27年に日本プロゴルフ協会より寄付のあったスナッグゴルフセットを活用して、スナッグゴルフ体験会の開催や、団体等への貸し出しを行っています。 ・平成26年に、市制60記念事業として、市スポーツ推進委員監修のもと、市内8地区にウォーキングコースを選定し、コースを掲載した「いきいきウォーキングマップ」を作成しましたのでご活用ください。	スポーツ文化課 商工課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針6 新たな まちづくり	協働のまちづくり	・自治会活動が、人口減少や高齢化によって成り立たなくなっており、地域の行事や奉仕作業の住民の負担が大きくなっている。 ・住民同士のコミュニケーションが不足している。独居者への訪問を行ったり、地域で支え合う環境づくりが必要。 ・私有地に長時間駐車、ゴミ捨て、廃水などをするマナーの悪い方に困っている。	・人口減少や高齢化による地域行事の負担増について、また、住民同士のコミュニケーション不足の解消や地域での支え合いについては、無理のない範囲で参加できる工夫をすることや、これまでの活動を見直す等、自治会内で話し合いをもっていただきたいと考えています。 ・マナー違反の方に対する注意喚起などにつきましては、自治会内での啓発をお願いいたします。	市民協働課
	情報共有	・デスモくんやMioちゃんなど魅力的なキャラクターの活用を。	デスモくん・Mioちゃんについては、博物館展示室やホームページで画像・映像を使用しているほか、市が作成するグッズやコミュニティバス等でも使用しています。また、依頼があれば一般の団体等にも画像を提供しています。	スポーツ文化課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・ 瑞浪市の魅力をもっとPRしてほしい。（サイエンスワールド、化石博物館、ポーノパーク、瑞浪焼、屏風山の登山など）	・ 情報発信について課題ととらえ、PR事業の展開を計画しています。	商工課
		・ 広報が配られたことないため、情報が入らない。チラシや案内などもっと情報がほしい。 ・ ゴミの分別やイベント情報などスマートフォンアプリで配信すると便利になると思う。 ・ 情報インフラの整備。	・ 広報紙の配布は、各自治会にご協力いただいております。自治会に加入されていない場合は、配布されません。なお、広報紙や各種案内チラシ等は、公共施設やスーパー等にも備え付けてありますので、ご利用ください。また、広報紙以外にも、市HP・メルマガ等での情報発信を行っています。今後も、情報発信の強化に向けて取り組みます。 ・ ごみの捨て方については、ごみ分別促進アプリ『さんあーる』にて、収集日やごみの分別方法について情報配信を行っています。観光・イベント情報については、来年度からメルマガに加えてLINEでの情報配信を開始する予定です。その他の情報についても、必要に応じて、メルマガやLINE等で配信していきます。 ・ 情報インフラの整備については、市内のほぼ全域に携帯通信網が整備されています。光ファイバー網などの固定回線については、来年度中を目途に市北部等の未整備地区への対応を予定しています。	企画政策課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・市内放送の改善。	・防災行政無線は、無線局設備の稼動点検のため、12時（チャイム）と18時（音楽）に定時放送を行っています。夕方の児童の帰宅喚起放送は、防犯を兼ねており、地域の子どもを地域で守っていくため、有効な役割を果たしています。これら定時放送は、その目的から、毎日放送する必要があります。 ・市長の肉声による新型コロナウイルス感染症対策についての放送は、市民一人ひとりの警戒心を高め、対策を周知徹底するため、最も効果がある広報・啓発手段の一つと考えています。 ・市では、昨年度から市内全てのスピーカー配置の見直しや機器の交換を行い、令和2年11月に更新を完了しました。聞こえづらくなった、音が大き過ぎる等のご意見に対しては、個々に調整を実施しています。 - 今後も、市民の皆様の安全・安心を守るため、必要な範囲内で適正な情報発信を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。	生活安全課
	行財政運営	・誰もが平等に充実した住みやすいまちづくりを期待する。 ・公民館（上小田南北の西部と下小田）の新設を希望。	・地域の公民館（集会所）新設につきましては、補助制度を設けておりますので、地域内で調整のうえ、市民協働課までお問い合わせください。	市民協働課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・人口減少対策を考えてほしい。 ・多治見市、土岐市、瑞浪市の3市合併を再検討してほしい。 ・瑞浪で運転免許の更新やハローワークの利用ができるようにしてほしい。 ・調査票の紙が上質すぎるし、余白部分も多すぎてもったいない。	・人口減少対策については、移住定住、企業誘致などを積極的に行ったことにより、一定の成果が現れてきているところです。引き続き、地方創生に資する取り組みを展開していきます。 ・東濃西部3市1町の合併は、2006年（平成18年）の住民意向調査の結果、合併しないこととなりました。15年が経過する現在にあっても合併の機運が高まっている状況ではありませんが、広域連携の取り組みを推進していきます。 ・運転免許証は管轄が岐阜県警察、ハローワークは管轄が岐阜労働局ですので、明確なことは申し上げられませんが、現行の体制を変更することは困難と思われます。 ・市民アンケートの用紙については、契約額の範囲内で委託業者が選定されていますが、今後の事務の参考にさせていただきます。	企画政策課
		・瑞浪市のために働く市の職員の職場環境を見直してほしい。（給料を上げるなど）	民間企業の給与は、労使交渉や市場の抑制力などによって決定します。一方、公務員の給与は、地位の特殊性や職務の公共性のため労働基本権に制約があることや、市場の抑制力が働かないことなどから、人事委員会が給与勧告を行い、住民の代表者で構成される議会の議決により決定されます。 人事委員会が給与勧告を行うにあたっては、職員の士気向上や人材の確保により安定的な行政運営を行うため、毎年、職種別民間給与実態調査等を実施し、労務に対する給与水準を民間と均衡させること（民間準拠）を基本としています。 今後も適正な給与水準を確保するとともに、職員が働きやすい職場環境の維持向上に努めてまいります。	秘書課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・新型コロナウイルスの十分な対応。コロナ禍で働く医療関係者、消防、市役所への手厚いフォローも今後の希望となる。	令和2年12月31日現在、県内はいまだかつてない感染拡大中であり、県内の医療機関の受入れ状況は5割を越え、深刻な状況です。 市は、県による第3波「年末年始」集中緊急対策発出以来、医療従事者の皆様への感謝と市民の皆様への一層の感染防止対策の徹底について、市長メッセージをはじめ、防災行政無線、防災ラジオ及び絆メールなど様々な手段を活用して、呼びかけを行っているところです。 国及び県と連携した個人及び事業者に対する支援事業及び相談窓口については、広報みずなみとともに市内全戸に配布した啓発チラシ、市ホームページ等により周知しているところですが、是非とも、ご確認の上、これらの事業や制度をご活用頂きますようお願いいたします。	生活安全課
		・住民税の見直しの検討。	住民税は住民の皆様の負担能力に応じて分担し合う性質の税金で、住みよいまちづくりのために欠かせないものとなっており、現段階で見直す予定はありません。 なお税率については、地方税法に定められている標準税率を用い、近隣市町村と同水準となっております。	税務課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		・大湫町に投入した税金に対して費用対効果がない。	・瑞浪市で整備した旧森川訓行家住宅は、観光案内所として利用し年間1万人の来場者があります。市では地域活性化施設等整備補助金を設置し、古民家等を活用して事業を行う方を募集し、大湫町などでお金の落ちる仕組みを作ってます。その一つとして旧森川善章家住宅は古民家カフェとして令和3年夏頃オープン予定です。	商工課